

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	戦没者追悼式推進事業				会計	款	項	目	大	小
					01	03	01	01	07	01
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課						
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	先の大戦における本市関係戦没者の遺族等	意図	戦没者に追悼の誠を捧げるとともに、恒久平和を祈念する						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 遺族等が一同に会し、追悼の誠を捧げる式典を開催し、恒久平和を祈念し、平和施策推進を図る。 戦没者遺族が高齢化しているため、参列者の送迎を行い、事業推進を図る。 									
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 以前は、戦没者遺族が多く参列していたが、遺族の高齢化や死亡、遺族意識の希薄化などにより、対象者が年々減少している。このため、平成21年度からは、会場を流山市文化会館より生涯学習センターに変更している。 									

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
指標	① 追悼式の参列人数	171	139	159	人	↑↑↑		
	② 遺族会会員数	258	245	242	人	→→		
	③ バス利用申込者	71	53	57	人	→→		
	④							
指標で表すことができない定性的な成果	参列している遺族からは変わらず挙行することを評価されている。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・参列者の減少から会場を小規模のものに変更した。 ・遺族会会員は年々減少傾向にあり、増加が見込めない。 ・平成24年度は57人のバス利用申込者に対して167,000円のバス借上げ料が掛かっている。（2,929円/人） ・バスは送迎用に4台用意。内1台は市バス（ことぶき号）、3台が民間借上げ。 ・遺族は高齢化しており、参加者が減少しており、増加は見込めない		
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		617,654	561,687	637,532				
事業費(b)(円)		617,654	561,687	637,532				
うち一般財源		617,654	561,687	637,532				
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	流山市遺族会への加入を促す	③取り組みの課題	参加者の減少
②今年度(H24)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 追悼式への参加を促す 参加者減少により、送迎バス路線の変更及びバスを小型（大型からマイクロバスへ）に変更した 	④今後の改善計画	遺族会組織を通じて参加を促し、事業の継続を図る